

白川村 遊覧ヘリ計画

7月運航開始へ村長ら試乗

白川村は、村民や観光客向けにヘリコプターでの遊覧飛行を検討している。七月の開始を目指しており、四月末には成原茂村長をはじめ、村や観光協会などの関係者ら十四人がヘリに試乗した。成原村長は「今年は白山の開山千三百年。村民が白山に思いをはせる事業ができないか考えている」と話している。

(戎野文菜)



合掌集落などヘリからの眺め白川村で



遊覧ヘリに試乗する村民ら

緑の山々の間を抜けると、青緑色の御母衣湖、横には雪をかぶった白山がそびえる。日の光に照らされ、きらきらと輝く庄川に沿って下ると、桜のピンクで彩られた合掌集落が広がった。試乗会には記者も参加した。

空からの眺めを楽しんだ関係者は口々に「きれいやった」「山が多いので見心えが結構」と言い、笑顔を見ながら、笑顔をみながら遊覧飛行の検討が始まる

たという。成原村長は「観光客は宿泊者に限定し、中学生などが体験できるようにペリにしたい」と話す。

同法人の担当者によると、運航には四人乗りの小型ヘリを使用。騒音問題が起きないよう集落の真上を避けながら、十二分の飛行を予定しているという。



青緑色が目を引く御母衣湖

ハナモノ街道「満開

呂

くなり、同じ年に検夫さんの友人も亡くなった。

土が合わずに枯死し、くしの歯が欠けた植栽が続いている。

地区有志がコツコツと節しい。できる限り守り

たよんで、立ち消えてしまっている箇所も少なくない。笑